

出会い ふれあい 助け合い

サロンあべの

Vol. 139



スィートハートComas

サロン・あべの12月の出会い

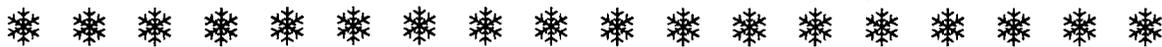
97年12月6日(土)、育徳会館3階の幸分ホールにおいて、サロン・あべの12月の出会いを開催しました。

12月の出会いは毎年恒例のクリスマス会です。午後12時からクリスマスツリーなどの飾り付けを開始。午後1時に、今年も山野さんに乾杯の音頭をお願いして、サロン・あべののクリスマス会を開会しました。

歓談と飲食を楽しみながら、この日最初のショータイムです。「不思議塾」の外山さんと永堀さんによる手品です。色紙、ロープ、牛乳びん、新聞紙、ハシカチなどを使った数々の手品で楽しませていただきました。

そして、砂田さんに進行をお願いして、〇×クイズとジャンケン大会です。共に勝ち残った方々には、賞品を選んでいただきました。





「ひびき」の方々の演奏



外山さん(上)と
永堀さん(右)の作品



次は、音楽遊びの時間です。大阪市音楽コミュニケーションボランティアグループ「ひびき」の方々に登場していただきました。

最初は、ミュージックベルとエレクトーンの演奏で、「ジン

グル・ベル」など3曲を披露。そして、ピアノ伴奏による合唱に手話も交えて、「みんなであくろうドレミのうた」など4曲を歌っていただきました。その後は、会場の参加者に鳴子と鈴が配られ、全員参加による演

奏です。沖縄地方の歌では、「チョチョンガチョン！チョンガチョン！」の掛け声に、踊りの輪が広がり、とても盛り上がりました。ラストは、「見上げてごらん夜の星を」の合唱で締めくくっていただきました。

この日の参加者全員にプレゼントを渡し、最後は、久木さんに指導をしていただいて、全員で「ともだち」を歌い、97年のサロン・あべののクリスマス会幕を閉じました。

参加者32名。(上平幸雄)





カンパライ！ 山野さん

「ともだち」をうたう久木さん

総合司会の砂田さん

写真＝上平幸雄・久木浩・山野荘一さん

お知らせ

サロン・あべの2月の出会い

日時 2月21日(土) 午後1時～4時

場所 育徳コミュニティセンター研修室

(阿倍野区阪南町5-15-28)

スロープ、車いすトイレ有り)

テーマ 「ふれ愛びっく大阪」よもやま話

—あなたとわたしのスポーツ自慢

Part II

パネラー

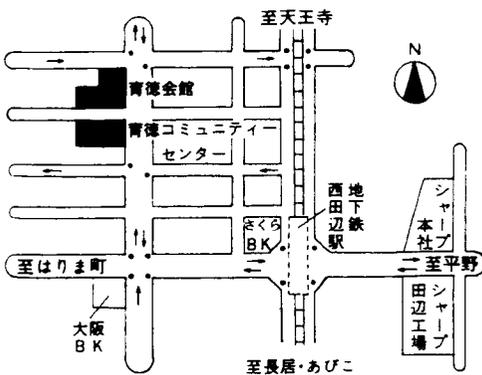
「ふれ愛びっく大阪」金メダリスト

梶谷 終一氏

会費 なし

お申し込み・お問い合わせ先

☎06(691)1028 (富田慶子)



くのでときどき州南部へ出かけます。医者が薬を変えてみましたら、とてもよく効いているようです。12月4日に誕生日をむかえたゲーリーは、50歳になって今年はひとつの大きな出来事をむかえたことになります。

私たちに新しい家族が増えました。

彼女は2歳半で、大きな茶色の目をしていて、もう家族の中心です。彼女はピーカブーといいます。半分ベキニーズで半分ブードルのあいのこです。体重は6ポンドです。ブロンドの耳をもった白い犬です。彼女はスージーが好きですが、ゲーリーもお気に入りです。彼女は彼の行くところ、すべてについて行きます。小型のペット犬をほしがっていなかった子も彼女(ピーカブー)にふれるといっぺんに好きになってしまったようです。

あなたもご存知のとおり、1月2日に父が亡くなって、私にとってはつらい年でした。それは、たいへんつらくさびしいことです。

母の方は今、病気です。彼女は倒れてから、最近足を切断せねばなりませんでした。

サポートグループはよくやってくれています。新しいコンピューターとコピー機を購入するための助成金を手に入れようと思っています。

運は向いて来ないけれど試してみつづけようと思っています。

私たちの友人やその家族の方々が、健康で平和でありますように。

お体に気をつけて下さい。

メリークリスマス アンド

ハッピーニューイヤー

トラッキー一家より

ドイツからのお便り

あなたとあなたのご家族へ

ブリギッテより

あなたがお元気で、また、日本の銀行がつぶれたことに関して、あなたに関係がないように望んでおります。

97年12月23日から98年1月6日まで私たちの病院はお休みです。そして、来年はフルタイムで働けなくなります。なぜなら、こここのところ患者の数があまりに少ないからなのです。このような見通しなので、そのかわりにクリスマスをうんと楽しもうと思っています。あなたもね。

では お元気で

ブリギッテ



for You and Your family
from Brigitte

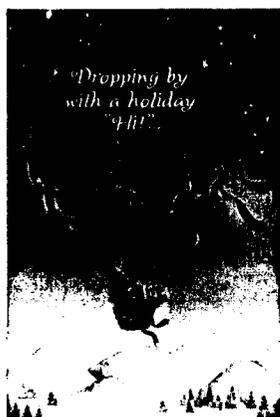
I hope you feel good and you
have no problems with the
creches of the Great Japanese
banks.

Our clinic will be closed
from 12/23/97 til 01/06/98
and next year we can't
work full time, because at
the moment the number of
our patients is too small.

In spite of this perspective
I try to enjoy Christmas.
I hope also for You.
With best wishes

Brigitte

アメリカからのお便り



...and a wish
for your best
Christmas ever!

God Bless,
Gerry, Patti
Jerameal
&
Susie

今までで最高のクリスマスでありますよ
うに 神様の祝福がありますように

ゲーリー パティ エレミアと
スージーより

MERRY CHRISTMAS !!!!!

it seems like another year has flown by. jeramiah and susie are doing well. jeramiah is now 14. he has a mustache and sparse beard for a year now. his beard is starting to fill in. he has to shave every other day. if he is this hairy now, wow, he's going to look like ojichan. he is in the 8th grade and doing well in his studies. he still loves science and starting to read more. he is still playing the saxophone. he is a stage hand in the school play and plans to join track again.

susan is almost as tall as i am. she loves to tease me. she is in the 6th grade, plays the trombone. she is also in the school play. she was in the girls basketball team. she is determined to stay on the honor roll. she is babysitting for two young kids down the street. she is growing up to be a pretty young lady.

ger and i are doing fine. we have our bad days and good days. ger had to go downstate a couple of times to go to a pain clinic. they had to revise his medications. so far the new meds seem to be helpful.

he is having a milestone this year as he turned to yrs on the 4th.

we have a new addition to our family. she's 2 1/2 big brown eyes and the center of the house. she's a peepapoo. 1/2 pekinese 1/2 poodle. she's 6lbs, white with blonde ears. she likes susie but she adores ger. she follows him everywhere. the guy who never wanted a lap dog is just as attached to her. they are so cute together.

most of you know this has been a hard year for me as my dad passed away on jan. it's been very hard and i miss him alot.

my grandmother is now sick. she had a stroke and recently had to have her leg amputated.

The support group is doing well. I have been trying to obtain a grant to purchase a newer computer and xerox machine. so far we haven't had much luck. we'll keep trying.

we wish each of our friends and family health and peace.

take care and god bless.

merry christmas and happy New Year !!

The Truckers

クリスマス おめでとう

残り少ない年が飛び去って行くような気がします。

エレミアとスージーは元気に過ごしています。エレミアは今14歳です。彼はここ1年の間に口ひげと薄いあごひげが生えてきました。そして、あごひげはどんどん伸び始め出したので1日おきにそらなければなりません。もし、そのまま放っておいたら「オジイちゃん」のようになるでしょう。彼は今、8年生です。そして、成績はよいです。彼は科学が好きで(科学の本を)読み始めています。彼はサキソフォンをまだ吹いています。学校の演奏会ではステージバンドを組んで演奏し、また、もう一度やる計画を立てています。

スージーは私によく似ています。彼女は私をからかうのが好きです。彼女は6年生で、トロンボーンを吹いています。彼女もまた学校で演奏します。彼女はバスケットボール部員です。そして、今回もとてもよい成績をとりました。彼女は通りを降りたところで2人の幼児のベビーシッターをしています。

ゲーリーと私も元気です。私たちは(調子の)良い日と悪い日をくり返しています。ゲーリーは、痛みを取るために病院へ行

朗読テープのご案内

朗読グループ「ぼけっと」のご協力で、
Aサロン・あべのV紙一三八号の録音テープが出来ました。

五〇号は、九〇分と六〇分の二本のテープに、一〇〇号は、一二〇分テープ二本にAサロン・あべのV十周年記念誌「はあとが、はろー!」は、九〇分テープ二本と一二〇分テープにそれぞれ収録されています。
又、絵本「未知の記憶」(作・絵 川中勝彦)、「ラジオたんぱ」(三〇分)放送の『Aサロン・あべのV平成七年五月の出会い』、エッセー集「逃げたクヨナグッポラ」(岡本栄一著・表谷恵美子音訳)もあります。

本紙のバックナンバーが表谷恵美子さんのご協力で一号からそろいました。

いずれもご希望の方には、タビングをしますので、富田までお申し出下さい。

(☎〇六―六九―一〇二八)

感謝

カンパ、写真、インスタントコーヒー、ボトルお茶、お茶菓子、みかん、クリスマスプレゼント用小物、98年度版卓上日めくり等ご寄付・寄贈ありがとうございました。又、サロングッズのお買い上げありがとうございました。お礼申し上げます。

- 秋本美智子、
- 石原 栄 (大阪義肢装具センター)、
- 伊藤明弘・朋子、今西美奈子、
- 内海淳子、大塚一枝、大西暉子、
- 大野 淑、岡本はる、岡 賀寿子、
- 小野原俊介、黒羽玲子、神城昭子、
- 三田博子、砂田知美、高野 栄、
- 滝本涼子、竹村定子、田中美佐保、
- 富田万里子、中岡久美子、長島伊津子、
- 中村真典、表谷恵美子、藤井さゆり、
- 宝示愛子、マーガレットポラー、
- 宮崎徹朗、森 芳江、八木千尋、
- 倭 満也子、山野荘一、山本篤江、
- 山本鈴子、山本敏子、吉原和郎、
- その他の方々。



サロンの絵はがき

「花だより」「出会いの風景」「わがまち 阿倍野」があります。ちょっとした近況、お知らせや季節のごあいさつなどに、どうぞ。

1セット5枚組 ¥150-

作る つくる 創る

河合恵子

天からの手紙

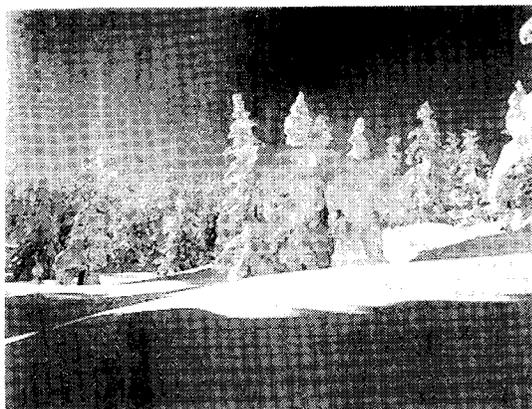
初春のお慶びを申し上げます。

新しい年をどのようにお過ごしでしょうか？私は大晦日からお正月を妹の一家と長野県の乗鞍高原で迎えました。

年末の雪不足でスキー客の宿泊のキャンセルがあったため、急遽行ったのですが、積雪四十センチ。もともとも着いた翌日から雪が少し降りはじめ、一月八日は大雪。これで2月7日からのオリンピックも一安心。宿のおみやげも、オリンピックのキャラクターがライターや灰皿、キーホルダーはじめ、お菓子の箱などに登場。特にスノーレツツというのはユニークな四羽の鳥のデザイン。

ところで今回印象的だったのは車の

窓ガラスに積もってくる雪。雪の結晶がはつきりと見えて、すべて異なるその六角形が次々と重なっていくのは見



樹氷林冬晴れ

ていて飽きることがありません。「雪は天から送られた手紙である」といったのは実験室内で人工的に雪を作りだ

し、雪の結晶の成長を研究した中谷宇吉郎博士。

雪のかたちは十人十色。雪の結晶形は互いによく似ていても、くわしく見ればそれぞれに多少異なり、無数に降る雪の中にもまったく同じ形のものはない。雪の結晶の形はまさに千差万別、その形は降る時の気象条件、おもに気温と水蒸気の多い、少ないによつて微妙に変わる（「冬のエフェメル」より）。

針、角柱、角板、扇状六花、広幅六花、樹枝状六花・・・その大きさは普通0・1ミリ以下。まさに自然の妙というしかない美しい存在。

この次、雪が降ったら、じっと目を凝らしてその結晶のひとつを見つめてみませんか？

これはなそう！

その8

入所施設の中の自己決定

阿部 幸恵

施設は知っている

水戸事件やサン・グループ事件、また白河育成園の知的障害者虐待事件など、次から次へと摘発される事実は、社会に衝撃を与えました。知的障害のある人の権利について、改めて考えさせられたはずで

す。また、知的障害のある本人の活動の影響もあって、「自己決定の尊重」が重要とされ、現場の人々の処遇も「管理・保護」から「支援」の方向へ変わりつつあると思われ

ます。そうです。現場にいる関係者は知っているのです。今、知的障害のある人と接するとき、何が問題とされていて、どうしなくてはいけないのかを。

自己決定の前に

そこで、入所施設にいる知的障害のある人が、ある問題行動を起こしたとします。仮に、無断外出をしたとしましょう。

さあ、職員はどのように対応するのでしょうか。管理するのか、支援するの

かによって、正反対の方向になります。管理するのならば、問題をなくすため

に、施設する、職員が見張る、場合によっては、安定剤が処方されるかもしれせん。

支援するのならば、なぜ無断外出したのかを本人にきき、原因となるストレスを発散する方法を考えたり、外出プログラムを立てたり、本人の欲求を実現するための支援がなされます。

しかし、時に、どちらも「自己決定」をさせることができるのです。

管理型職員が本人に言います。

「勝手に出て行くことは、悪い事だよ。反省しなければいけないね。」

「だまって外に出たら、今度の旅行に行けなくなっちゃうよ。」

支援型職員が本人に言います。

「外に出たい時って、どんな気持ち？」

「外に出たいときは、言っておきなさい。」

「行きたいところはある？手伝うよ。」

そして、どちらの場合でも、本人は言

うるので

。「もう勝手に出て行かないよ」と。

責任は施設にしかない

集団処遇の入所施設で、個別に支援を

しようとしたら、それは、施設の枠を大きく変える他はありません。ある人だけは、独自の外出を認める、という特例は許されないからです。

それは、つまり、責任は施設側にあることが原因になっています。その人を施設で預かっている以上、問題が起きた場合、最終的な責任は施設に問われます。

最終的な責任が、本人にない限り、罰を受ける権利も、不満を言う権利も、希望を言う権利も保障されていないでしょう。

つまり、施設という環境は、責任の所在は施設にある、という制約がある限り、そこにいる人が自己決定することは、物理的に難しいといえるのです。

それは、そうに決まっている！そんな事は承知している！

そうなのですが、最近、私自身が、ある出来事から改めて痛感し、この場で述べようと決定したのでした。

けれども、施設の中の人は、管理の中、希望をもって生活しています。

あきらめない前に支援を！

★ 名をあげる

「身を立て名をあげ」という言葉が、私の子どものころの卒業式には「仰げば尊し」という歌詞とともに歌われた。

若い私は「身を立て名をあげ」と言われて、その校舎の外には、ただ競争に満ちた世界だけがあるように感じた。卒業式はスタートラインにすぎず、そこからマラソン選手のように、いっせいに走り出すよう迫られていた。「手をつないで、みんな仲良く」という、ゆったりとした睦ましい姿は思い浮かばなかったのである。

「名をあげる」という言い方は、時代劇でもよく聞く。武勲を求めるのである。その態度は武士にふさわしいものとして誉められた。

しかし、「名」を求めることは、一方では名誉欲として、人の飽くなき欲望のひとつに数えられ、あさましい愚かなものとして描かれることもある。

声高に政府を批判していた人が老い

たあと、皇居あたりで、胸に勲章をつけ、いかめしい顔つきでカメラの前でポーズをとる姿をテレビで見たりすると、名誉欲の強さと、それに対する人間の弱さを考えさせられる。

欲が悪とされるのは、だいいちに、



それによって他の人びとを傷つけるからだろう。肉欲は他の人の身体を傷つけ、金銭欲は、他の人々から財産を奪うことによつて満たされる。

しかし、名誉欲は他の人々を傷つけるだろうか。たとえば、私のまわりの

誰かが、有名になりたいと強く願ったとき、私はそれによつて傷つくことがあるだろうか。それはあまりないのではないかと思う。

だからこそ、名誉欲は愚かしいものとされる一方で、「名をあげる」ことが卒業式の歌にさえ奨励されるのだろう。

正月に神社にいけば、その境内は、石に刻まれた人の名前であふれていて、まるで、「私はこんなにも金を出したのだ」と叫ぶ自己顕示欲の陳列棚のようだ。それは信心の現われというより、目には見えない神の空(むな)しさを前にして、かえつて人間の欲望が思う存分さらけ出されている姿かもしれない。

名誉欲の強さと、それに対する人々の弱さは、人の空しさと通じている。空しいからこそ、名を求める。戦(いくさ)に名を求める武将は、誰よりも

戦に空しさを感じていたにちがいない。名を求めることが愚かな欲望であり、それに固執することが人の罪であるのなら、それは、空しきのなかに己を費やすことの罪なのだろう。怠惰と同じ過ちが、名声を求め懸命な努力のなかに隠されている。(知)

おけまして

おめでとう

ございませす

寅年は縁起がよいとか、

皆様のところへも、様々な「福トラ」が

届いたことでしょう。

昨年は何かとご協力、ご支援を賜りまし

てありがとうございました。お陰様で楽しい

思い出が沢山できました。

本年も皆様と一緒に、いろいろな出会

いを持ちたいと思いますので、どうぞ、よ

ろしくお願い申し上げます。

△サロン・あべのV運営委員一同

さきみみずきん

「さきみみずきん」をよろしく

「むかしむかしあったとき、

天狗と知恵比べをしたきちよ

むさんが、とんちで天狗を追い

払い、天狗の残した頭巾と糞を

体に着けました。と、ああら不

思議、体は消えて透明になり、

耳を澄ますと鳥や獣の言葉が判

ります。これは面白いと町へ出

ていろいろな事を見たり聞いた

りして…」という昔話がありま

す。この頭巾と糞を現在版で言

えば、さしずめパソコン(デター

ト)ではないかと思えます。

しかし、パソコンというは易

く、行なうは難しいと考えたサ

ロンでは、皆さんがお持ちの情

報を提供していただけたらと、

新しいコーナー「さきみみずき

ん」を開きました。内容、ジャ

ナルは問いません。面白い話や

なあ、こんな情報がと、思われ

た時、このコーナーにちよこつ

とお知らせいただければとても

ありがたく嬉しいです。

昼寝の寝言でも、長者になれ

るヒントがあるかも知れません

ものね。

◎原稿の送り先

〒五四五〇〇二二

奈良県橿原市六三二二六

☎〇六一六九一一〇二八

富田慶子



美智子のこんな話

岸田 美智子

自立生活センターMy・Do【まいど】の活動とは・・・

前回掲載させていただきました自立生活センターの趣旨文の原案です。

これは、まだ案なので変更があるかもしれませんが、皆さんからのご意見をいただきたいと思っています。

このハサロン・あべのV紙の読者の方々に、ご意見がありましたら、よろしくお願ひします。

自立生活センター趣旨文(案)

価値観が多様化している現在、健全者の社会は物質文明にいきつまりつつあります。環境破壊も、地球的規模で進んでいます。科学文明は人間の命を延命させたり、男女の産みわけや、障害児の早期発見を可能にできてしまいました。

そのような現在、日本は超高齢化社会を迎えようとしています。それを支えていく基盤として介護保険制度の導入が考えられています。これは、介護の問題を、すべての人の問題としてとらえ、家族や女性に押しつけるものではなく、社会全体で介護の問題を解決していこうとするものです。

そのような中で障害者の生活はどんな状況でしょうか。軽度障害者は、どうにか社会参加出来るものの、低賃金で使われたりして身体をこわし、二次障害や疲労がつもり、障害の重度化を招くことが多いのが現実です。一方、重度障害者は、社会参加を拒まれ、在宅や入所施設での限られた生活

をよぎなくされています。このような在宅や施設での生活は、家族や職員になるべく負担を掛けないように、トイレやお風呂に入ることなどでさえ我慢してしまったりしなければならず、一日中テレビを観たりして過ごす場合がほとんどです。そして、入所施設での生活は、職員の人手が不足しているため、外出もままならず、起床時間や就寝時間ももちろん、食事時間なども一切職員の都合で決められ、在宅生活と同じように、人間関係も作れず受け身の生活でしかありません。このような状況では、重度障害者の多くは自分で選んで生きていく力をまったく奪われてしまいます。その結果、自分の介護の内容を人に伝えたりすることができず、自分で決定する事が苦手であったり、何をどう伝えていけばいいのか分からない状況におかれ、その多くは、子供扱いされたりしてしまいます。

私達は、このような社会状況を変えていくために、すべての重度障害者もこの社会の中で自己決定・自己選択が出来、在宅や施設での生活だけでなく、その人らしい自立生活を實現していく力をそれぞれが取り返し



丸山通1丁目

ていつてほしいと願っています。そのためには、家族や施設職員に自分の自立生活への希望をどのように伝え、どう説得していくのかがとても重要になってきています。このようなお手伝いを、地域で自立生活をエンジョイしている同じ障害者がカウンセラーとなり、自分の体験を元にアドバイスをを行う、ピアカウンセリングを行っていきます。地域での生活を始めるに当って、その生活費をどうするのか、自分にとって住みよい住宅がどんな場所にあるかを、どう

わがまち阿倍野 絵はがき散歩①

やって探すのか? どのように改造するのか、介助サービスは、公的サービス、民間サービス、ボランティアのどの時間に配置するのか、このような障害者の特有のさまざまなニーズに対して、適切な情報や助言をできるピアカウンセラーが相談に乗っていきます。このような、ケアマネジメントは、高齢化社会の問題解決の糸口にもなると思います。そして、自立生活を実際に体験してみる自立生活プログラム講座の実施や相談活動

喧騒の阿倍野筋から、丸山通りを西へ。大阪キリスト教短期大学と丸山小学校に挟まれたこのあたり、木も葉を落とし、来る春を待っている、うそみたいにしずかな一角である。

▼この連載はこれで終わりです

絵書わがまち阿倍野

- 歴史のあるまち
- チンチン電車の走るまち
- まちかどスケッチ

きりて文芸社二五〇

の中から見えてきたいろいろな生活場面での人権侵害の問題についても取り組んでいきたいと思っています。

一人でも多くの障害者が地域社会の中で一市民としての責任を果たし、よりその人らしい楽しい生活を作っていく事を私達は、お手伝いしていきたいと思っています。

☆ライフ・ネットワーク

〒五五八-〇〇〇-一

大阪市住吉区大領五-十一-十六

TEL 〇六-六〇七-八二六〇

FAX 〇六-六〇七-五五〇三



ハサロン・あべのVの皆様、お元気ですか。いつもいつも会報をお送り下さりありがとうございます。

「ふれ愛びつく大阪」がハサロン・あべのVの近くの競技場で開かれたあの日、私も見学に行きました。そして「シヤンテ」の演奏を聞いて楽しませていただきました。多くのかたがたのお話の中から自分の人生を考えておられる前向きな皆様に励まされ



サロン隣組ニュース

■「サロン淀川」2月の出会い

日時；2月15日(日)午後1時30分～午後4時

場所；「やすらぎ」

大阪市淀川区三国本町2-14-3

内容；「体操で肩こりをとる」

～頑固な肩こり原因と治し方～

パネラー；古東司朗氏

整形外科医 古東医院院長

会費；なし

問い合わせ先；淀川区社協 総務課・ビューロー

TEL06-394-2900

■「サロンつるみ」2月の出会い

日時；2月15日(日)午後1:30-4:00

場所；大阪市立鶴見会館2階

[鶴見区横5-5-51]

内容；「バレンタインデーにちなんで
ケーキを作ろう」

会費；700円(材料費含む)

問い合わせ先；TEL06-913-7070

(鶴見区総務課・ビューロー山本)

■《てくてく・すみよし》2月の出会い

日時；2月8日(日)午後12時～3時

集合時間＝午後12時

集合場所＝難波、高島屋前

内容；「味な屋台村新年会」

場所；和計パオリエントルホテル2階

「ダ・オーレー」(予定)

参加費；2500円

お申込み・お問い合わせ先；

TEL06-692-8411(山本)



内海淳子

れております。
何もお手伝いできない私ですが、またいつか楽器抱えていかせて下さい。
どうぞ、よろしくお願い致します。
いつの日か、また 皆様にお目にかかれ
ますよう、お元気で過ごして下さい。
12月18日

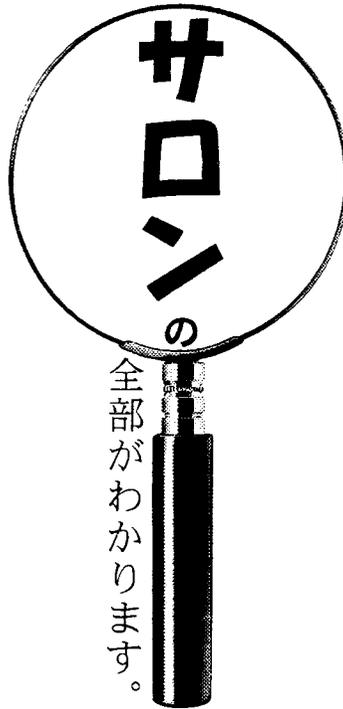
八〇名ほどの方々が集まっていたいて、
先日第一回の会を開きましたところ、
会報にのせていただいて恐縮です。
きありがとうございます。つたない文を、
先日はごていねいに会報をお送りいた
ごぶさたしております。
お変わりございませんか。
こんいちわ



砂 脇 たけ子

楽しいひとときをすごしました。
十二月は、第二回の会で三十名ぐらい集
まって(小学生からホームの苑生の方まで)
ポストカードの書き方の会をしました。
一月は、お話の会です。今年も残すところ、
もう少しですね。お身体を大切に、ど
うぞよい年をおむかえ下さい。

はあとが、はろー！は
もう
お読みになりましたか。



はあとが、はろー！

頒布価500円 (送料別)

FROM EDITOR

編集後記

「わがまち阿倍野 絵はがき散歩」は今月号でおわりです。<サロン・あべの>の10周年を記念して作った絵はがきのところをブラッと散歩してきましたが、どないでした。独断と偏見の15景で、もっとエエとこ知ってるとおっしゃる方もおありと思います。それはそれでまた、次の絵はがきづくりの楽しみにとっておきます。(石)

編集人；サロン・あべの運営委員会・<サロン・あべの>Vol.139[98. 1.17.発行] 定価¥1000.

代表；上平幸雄〒545 大阪市阿倍野区阪南町2-19-2-303 電話06-621-4365

連絡先；富田慶子〒545 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 電話06-691-1028

表題；井上憲一・筆 文中イラスト；石田美禰子

郵便振替口座；サロン・あべの 00950-9-26941

印刷；セルフ社〒546 大阪市東住吉区北田辺町4-23-2ミスクビル2F ☎06-719-8212 ☎06-719-8213

〈サロン・あべの〉十三年目に向けて

あけましておめでとうございます。

一九八六年の寅年に発足した〈サロン・あべの〉も、今年で十三年目を迎えることができました。

サロン・あべの運営委員会では、毎年、年間テーマを設け、そのテーマに沿った形で、毎月の出合いを開催してきました。そこで、一九九八年の年間テーマを決めるにあたり、みなさまからのアイデアを募集したいと思います。

「こんなテーマがいい」「あの人の話を聞いてみたい」といったリクエストはもとより、新年会やハイキングにお薦めのスポットなどをお知らせください。

ちなみに、これまでの年間テーマを挙げてみますと…。「結婚」「ストレス」「コミュニケーション」「自立生活」「クオリティオブライフ」「ヘルシーライフ」「カルチャー&レジャー」「暮らしを考える」などでした。



〈サロン・あべの〉 13年目に向けて

- どんなテーマがいいですか？
「結婚」 「就労」 「高齢化」 「教育」 「趣味」 「健康」
その他（具体的に）

- 誰の話が聞いてみたいですか？
「各分野の専門家」 「大学の教員」
その他（具体的に）

- （あなた自身が）話したいこと。

- お薦めのスポットは？

- 見学してみたいところは？

- その他、「毎月の出会い」や「サロン・あべの」紙に対するご意見ご感想など。

書くのは苦手という方は、富田、石田などの運営委員にそっと耳打ちしてください。
ただし、特定の政治団体・宗教団体に関するものは、ご遠慮ください。
